



掲示板

研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(平成12年7月～9月)

- 上川地区農協監事研修会
主催 上川地区農協監事協議会
とき 平成12年8月17日
テーマ 「北海道経済に占める農業の位置付けと最近の農業動向について」
講演者 西村博司(当研究所・理事)
- 平成12年度東北・北海道指導農業士研修会
主催 北海道農業担い手センタ―、北海道農政部
とき 平成12年8月24日
テーマ 二十一世紀の農業・農村の展望
講演者 黒沢不二男(当研究所・研究部長)

○平成12年度北海道農村生活研究大会

主催 北海道農村研究会
とき 平成12年9月8日
テーマ 地域における男女共同参画社会へのチャレンジ
コーディネーター 黒沢不二男(当研究所・研究部長)

○北海道福祉栄養士研修会
主催 北海道栄養士会・福祉栄養士協議会
とき 平成12年10月19日
テーマ 「元気な野菜・果物を食卓に」
講演者 酒井徹(当研究所・専任研究員)

雑誌への投稿の実績

○黒沢不二男
△特集「担い手問題にどう対処する」
「担い手問題と経営能力の発展プロセス」

「北方農業」第50巻4号
2000年4月

編集後記

◆天高く馬肥ゆる秋、と言いたいところだが私の馬は高齢と夏バテで、食欲がなくなり、自慢のお尻の肉が落ちてきた。ということは

乳牛たちも夏バテで乳量が落ちたり、鶏の産卵率に影響が出るのではないが。
異常気象が続くと、これが当たり前のような気になってしまふ。北海道もいつの間にか梅雨の季節が定着してしまったりして、爽やかな夏が売り物の観光にも影響が出ては、なんてくだらないことを心配する。

◆スーパーを覗くと、淡路島産のタマネギ、四国産のアスパラ、九州産の馬鈴薯が並ぶ。季節感や産地といった意識は、「定常・便利」といったコンビニ感覚に負けてしまっただろうか。収穫の秋を迎えて複雑な心境である。

DATA FILE

関連事項/ DATA

(財) 北海道農業開発公社

〒 060-0005
札幌市中央区北5条西6丁目
☎ 011(271)2231

ホクレン農業協同組合連合会

〒 060-8651
札幌市中央区北4条西1丁目3
☎ 011(232)6108 広報宣伝課

北海道大学 農学部

〒 060-8589
札幌市北区北9条西9丁目
☎ 011(716)2111

北海学園大学

〒 062-0911
札幌市豊平区旭町4条1丁目40
☎ 011(841)1161

北海道 農政部

〒 060-0003
札幌市中央区北3条西6丁目
☎ 011(231)4111

たすけあいワーカーズ むく

〒 003-0838
札幌市白石区北郷8条8丁目7-4
☎ 011(875)6914

(社) 北海道地域農業研究所

〒 060-0004
札幌市中央区北4条西7丁目1
☎ 011(281)2566
E-mail: kaihou@chiikinouken.or.jp